

籾の色を見ながら、収穫適期を判断してください！

今年の出穂期は例年よりも早く、真夏日の中で登熟期を迎えています。秋も暑いことが予想されていることから、刈り遅れによる品質低下が懸念されますので、早めに作業計画を立てましょう。

出穂期 25 日後までは飽水管理を徹底するとともに、籾の黄化率を確認しながら適期収穫に努めてください。

1. コシヒカリの収穫開始予想日(8月19日現在)

出穂期	収穫めやすまでの積算気温 (本年)※1	収穫めやすに達する予定日 (アメダス地点別)※2	
		相 川	羽 茂
7月27日	950℃	9月1日	9月2日
7月29日		9月3日	9月4日
7月31日		9月6日	9月6日

※1 高温が予想されているため、50℃(2日程度)早めている。

※2 日平均気温の積算から予想。8月20日以降は平年値を使用。

2. 収穫までの管理ポイント

- (1) 高温登熟年は、基部未熟粒の発生が多くなり、品質低下が懸念されます。刈り遅れとならないよう、「収穫適期めやす」や「天気予報」を確認しながら、作業計画を立ててください。
- (2) 落水を早めると、粒の厚みが不足した未熟粒の増加につながりますので、出穂期 25 日後まで飽水管理を行いましょう。また、水はけの悪い場合は、水尻まで適切に排水できるよう、あらかじめ溝の補修を行ってください。
- (3) 収穫開始の目安は、籾の黄化率が 85%に達した頃です。積算気温を参考にしながら、必ずほ場で籾の黄化状況を確認してください。なお、収穫適期の判断は、佐渡米カレンダー 9 月のページを参考にしてください。
- (4) 成熟期にフェーン現象で乾燥した日が続いたときは、立毛胴割れが発生している可能性が高くなります。このような場合は、日中の加温乾燥は避け、常温による通風乾燥を行ってください。加温乾燥を行う際は、夜間の気温低下後に開始するとともに、二段乾燥など丁寧な乾燥を心掛けてください。
- (5) 斑点米や部分着色粒が多く発生した場合は、色彩選別機を活用する等、品質の確保に努めてください。



【普及センターHP】
収穫適期めやす(積算
気温表)はこちら

農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう